



維新の党

横浜市会議員（旭区）

大岩まさかず

市政レポート『給食アンケート結果について』



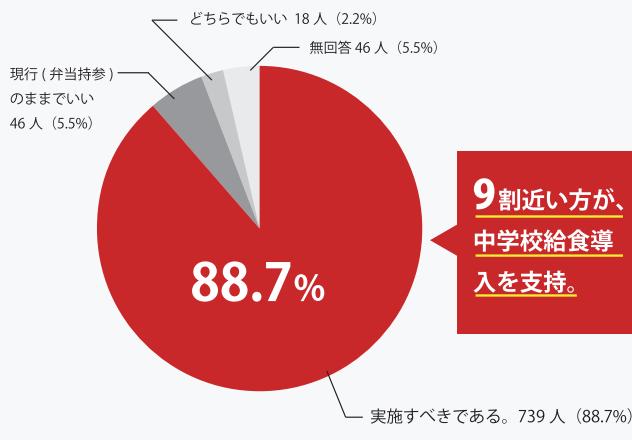
大岩まさかずのプロフィール [1970年8月3日生まれ]

- 中央大学法学部 政治学科卒業(1993年卒)
- 米国公認会計士(US.CPA)合格
- 民間企業に17年間勤務(日本リース、三井物産、日本GE)
- 2011年4月 横浜市会議員に初当選
- 2014年9月 維新の党 横浜市会 旭区支部長
- 政策・財務・財政委員会 / 孤立を防ぐ地域づくり特別委員会

中学校給食についてのアンケートを実施。88.7%の方が中学校給食の導入に賛成。

維新の党の横浜市会議員8名が所属する会派「横浜の未来を結ぶ会」では、昨年、中学校の学校給食実現の為のアンケートを実施し、833名（ハガキ729名、インターネットによる回答104名）の皆様から回答を頂きました。

■中学校給食の実施について



833名（ハガキ729名、インターネットによる回答104名）に実施

■議会での議論が実施の障害のひとつに

しかし、横浜市の議会では、中学校給食推進の質問をすると、大変残念なことに、未だに「お弁当は親の愛情だ！」「母親の仕事を放棄するな！」という声が上がります。そしてこの「親の愛情＝弁当づくり」とする少数派の意見に偏った政策が、今もなお、取られているのが横浜市の実態です。

夫婦共働きの家庭が増え、ほとんどすべての自治体が中学校給食実施に舵を切っていく中、横浜市だけが相変わらずの弁当持参の政策を続けていく事が、本当に正しい政策であると言えるでしょうか？

■他自治体の動向について

我々がアンケート調査を実施し、レポート配布の準備をしていた時点（平成26年9月～）では、20の政令指定都市の内、中学校給食の実施が決まっていないのは、「横浜市」と「堺市」の2市だけ！！でした。

しかし、アンケート実施期間中の平成26年9月30日に、堺市の議会で、中学校給食に関する補正予算（債務負担行為）が、ほぼ全会一致（無所属議員1名のみ反対）で可決された事により、堺市でも実施が決まり、いよいよ中学校給食の実施が決まっていないのは、「横浜市」だけ！！となってしまいました。

都市名	実施時期
北九州市（政令市）	H21.4から一部実施、H23.4から全校実施
相模原市（政令市）	H22.11から一部実施、H23年度から全校実施
大阪市（政令市）	H24.9から一部実施、H25.9から全校実施
逗子市	H26.10から全校実施
川崎市（政令市）	H28年度から一部実施、H29.12から全校実施
堺市（政令市）	H28年度中に全校実施（予定）
鎌倉市	H29年度から全校実施（予定）

